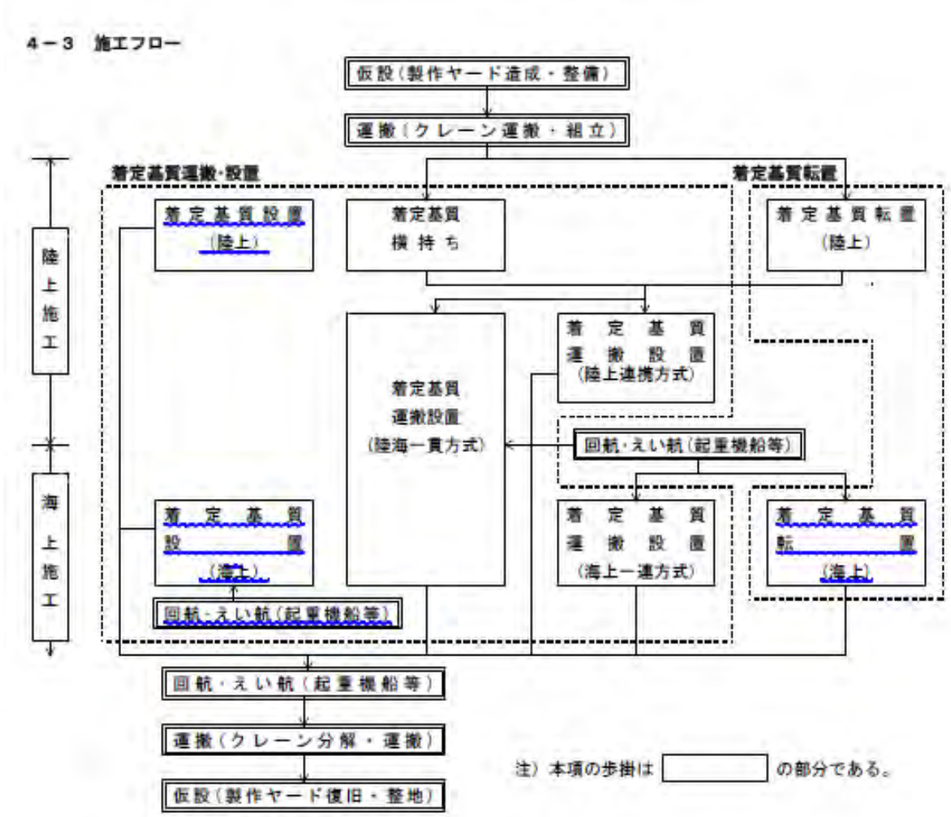
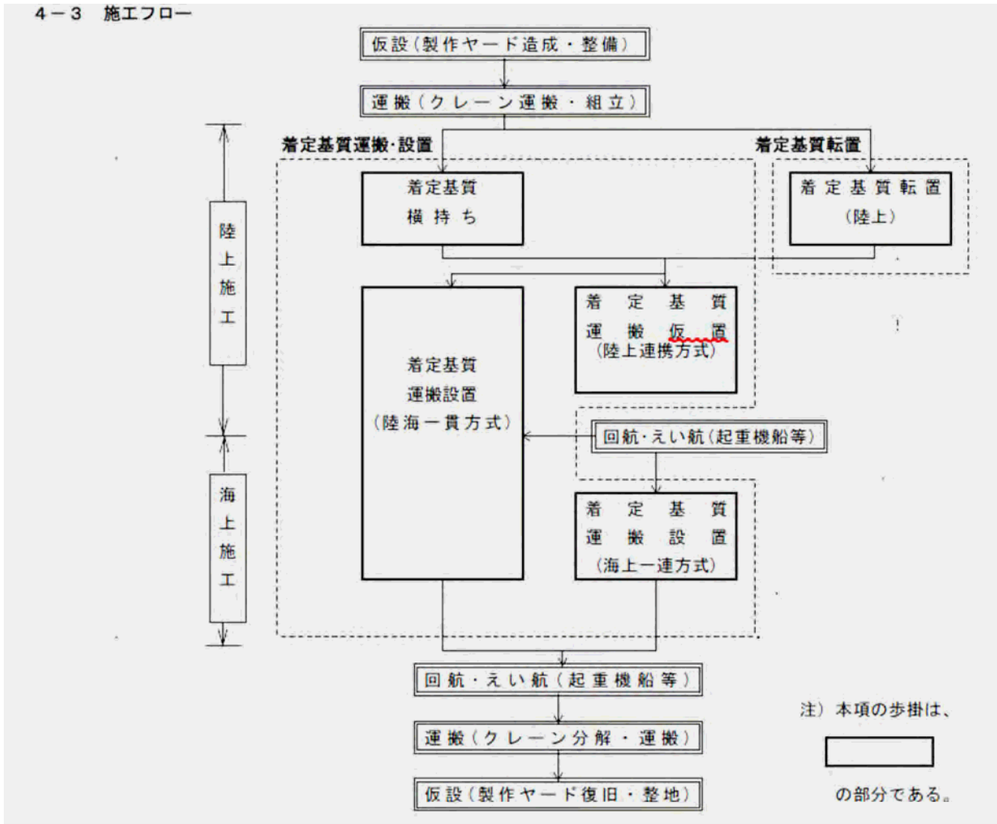
掲載頁	現行	改定	摘要
第３章 直接工事費の施工歩掛 ２節　増殖場工 P3-2-16	 	 	（水産庁準拠） 一部工種の削除 名称の修正

水産基盤整備事業（漁場）設計積算基準(令和６年１０月）　新旧対照表（令和６年１０月１日以降積算基準日適用）

掲載頁	現行	改定（令和７年度）	摘要
第３章 直接工事費の施工歩掛 ２節　増殖場工 P3-2-16			（水産庁準拠） 作業船・機械組合わせの変更 ブロック種類条件の追加

現行

４－４　作業船・機械の組合せ
４－４－１　陸上作業

着定基質質量	転置、運搬、据付（陸上連携方式、陸海一貫方式）、横持ち		
	ラフテレーンクレーン	クローラクレーン	トラックまたはトレーラ
４．５ｔ以下	（油）　２５ｔ吊		１１ｔ積
４．５ｔ超え　７．５ｔ〃	（油）　２５ｔ吊		１５ｔ積
７．５ｔ超え　１２．５ｔ〃	（油）　３５ｔ吊		１５ｔ積
１２．５ｔ超え　２２．０ｔ〃	（油）　４５ｔ吊		２５ｔ積
２２．０ｔ超え　３１．０ｔ〃	－	（油）　８０ｔ吊	３２ｔ積
３１．０ｔ超え　３７．５ｔ〃		（油）　１００ｔ吊	４０ｔ積
３７．５ｔ超え　５０．０ｔ〃			５０ｔ積
５０．０ｔ超え　７０．０ｔ〃		（油）　１５０ｔ吊	６０または７０ｔ積
７０．０ｔ超え１００．０ｔ〃		現場条件による	現場条件による

注）１．クレーン規格は、現場条件により大型規格のものを使用することができる。
２．同一工事おいて、製作・据付を一連して施工する場合は、製作転置クレーンと比較し、大型規格のクレーンを使用することができる。
３．現場条件によりラフテレーンクレーンの使用が困難な場合は、クローラクレーンを使用することができる。
なお、その場合の規格は着定基質質量・作業半径等を考慮し選定する。

改定（令和７年度）

４－４　作業船・機械の組合せ
４－４－１　陸上作業
（１）異形ブロック

着定基質質量	転置、運搬、据付（陸上連携方式、陸海一貫方式）、横持ち		
	ラフテレーンクレーン	クローラクレーン	トラックまたはトレーラ
４．５ｔ以下	（油）　25ｔ吊		11ｔ積
４．５ｔ超え　７．５ｔ〃	（油）　35ｔ吊		11ｔ積
７．５ｔ超え　１２．５ｔ〃	（油）　50ｔ吊		25ｔ積
１２．５ｔ超え　２２．０ｔ〃	（油）　50ｔ吊		25ｔ積
２２．０ｔ超え　３１．０ｔ〃	現場条件による		
３１．０ｔ超え　３７．５ｔ〃			
３７．５ｔ超え　５０．０ｔ〃			
５０．０ｔ超え　７０．０ｔ〃			
７０．０ｔ超え１００．０ｔ〃			

注）１．クレーン規格は、現場条件により大型規格のものを使用することができる。
２．同一工事おいて、製作・設置を一連して施工する場合は、製作転置クレーンと比較し、大型規格のクレーンを使用することができる。
３．現場条件によりラフテレーンクレーンの使用が困難な場合は、クローラクレーンを使用することができる
なお、その場合の規格は着定基質質量・作業半径等を考慮し選定する。

字句の修正

（２）単体着定基質、コンクリート製組立着定基質、鋼製組立着定基質

着定基質質量	転置、運搬、据付（陸上連携方式、陸海一貫方式）、横持ち		
	ラフテレーンクレーン	クローラクレーン	トラックまたはトレーラ
４．５ｔ以下	（油）　25ｔ吊		11ｔ積
４．５ｔ超え　７．５ｔ〃	（油）　25ｔ吊		15ｔ積
７．５ｔ超え　１２．５ｔ〃	（油）　50ｔ吊		32ｔ積
１２．５ｔ超え　２２．０ｔ〃	（油）　60ｔ吊		32ｔ積
２２．０ｔ超え　３１．０ｔ〃	現場条件による		
３１．０ｔ超え　３７．５ｔ〃			
３７．５ｔ超え　５０．０ｔ〃			
５０．０ｔ超え　７０．０ｔ〃			
７０．０ｔ超え１００．０ｔ〃			

注）１．クレーン規格は、現場条件により大型規格のものを使用することができる。
２．同一工事おいて、製作・設置を一連して施工する場合は、製作転置クレーンと比較し、大型規格のクレーンを使用することができる。
３．現場条件によりラフテレーンクレーンの使用が困難な場合は、クローラクレーンを使用することができる
なお、その場合の規格は着定基質質量・作業半径等を考慮し選定する。

字句の修正

P3-2-17

水産基盤整備事業（漁場）設計積算基準(令和６年１０月)　新旧対照表（令和６年１０月１日以降積算基準日適用）

掲載頁	現行	改定	摘要
第３章 直接工事費の施工歩掛 ２節　増殖場工 P3-2-17			（水産庁準拠） 作業船・機械組合わせの変更

現行

４－４－２海上作業

①　作業船団一覧　　次の作業船団一覧表参照
着定基質運搬・設置　海上作業船団一覧表

着定基質質量	起重機船（非航旋回）		クレーン付台船	
	起重機船	作業用引船	クレーン付台船	作業用引船
４．５ｔ以下	－	－	鋼Ｄ　45～50ｔ吊 102kW	鋼Ｄ450PS型 331kW
４．５ｔを超え ７．５ｔ以下			鋼Ｄ　８０ｔ吊 161kw	鋼Ｄ500PS型 368kW
７．５ｔを超え １２．５ｔ以下			鋼Ｄ１００ｔ吊 193kW	鋼Ｄ550PS型 405kW
１２．５ｔを超え ２２．０ｔ以下	鋼Ｄ１００ｔ吊 313kW	鋼　Ｄ　600PS型 441kW	－	
２２．０ｔを超え ３１．０ｔ以下				
３１．０ｔを超え ３７．５ｔ以下	鋼Ｄ１２０ｔ吊 353kW	鋼　Ｄ　700PS型 515kW		
３７．５ｔを超え ５０．０ｔ以下	鋼Ｄ１５０ｔ吊 405kW			
５０．０ｔを超え ７０．０ｔ以下	鋼Ｄ２００ｔ吊 588kW	鋼　Ｄ　800PS型 588kW		
７０．０ｔを超え １００．０ｔ以下	鋼Ｄ２５０ｔ吊 736kW	鋼Ｄ1,000PS型 736kW		

注）標準的な組合せは上記のとおりとするが、現場条件および在港状況により上記組合せにより難い場合には、着定基質質量および作業半径等を考慮し、別途選定することが出来る。

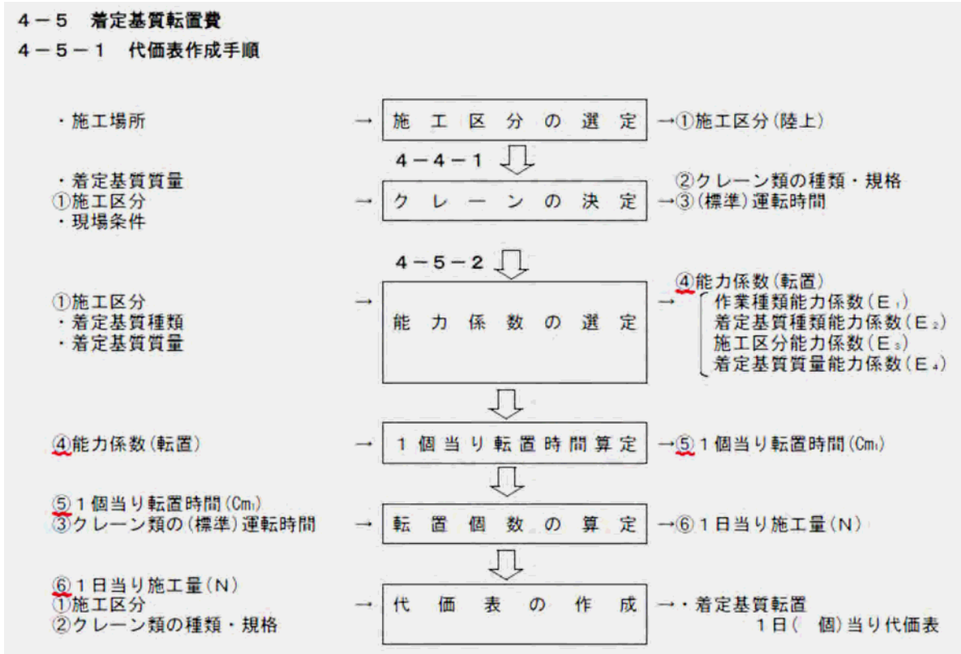
改定

４－４－２海上作業

①　作業船団一覧　　次の作業船団一覧表参照
異形ブロック、単体着定基質、コンクリート製組立着定基質、鋼製組立着定基質

着定基質質量	起重機船（非航旋回）		クレーン付台船	
	起重機船	作業用引船	クレーン付台船	作業用引船
４．５ｔ以下	鋼Ｄ120ｔ吊 353kW	鋼　Ｄ　700PS型 515kW	－	
４．５ｔを超え ７．５ｔ以下				
７．５ｔを超え １２．５ｔ以下				
１２．５ｔを超え ２２．０ｔ以下	鋼Ｄ200ｔ吊 588kW	鋼　Ｄ　800PS型 441kW		
２２．０ｔを超え ３１．０ｔ以下	現場条件による			
３１．０ｔを超え ３７．５ｔ以下				
３７．５ｔを超え ５０．０ｔ以下				
５０．０ｔを超え ７０．０ｔ以下				
７０．０ｔを超え １００．０ｔ以下				

注）標準的な組合せは上記のとおりとするが、現場条件および在港状況により上記組合せにより難い場合には、着定基質質量および作業半径等を考慮し、別途選定することが出来る。

掲載頁	現行	改定	摘要
第３章 直接工事費の施工歩掛 ２節　増殖場工 P3-2-19	 	 	（水産庁準拠） 一部工種の削除 労務編成の削除

水産基盤整備事業（漁場）設計積算基準(令和６年１０月）　新旧対照表（令和６年１０月１日以降積算基準日適用）

掲載頁	現行	改定	摘要
第３章 直接工事費の施工歩掛 ２節　増殖場工 P3-2-20			（水産庁準拠）

現行

４－５－２　施工歩掛

１）作業能力

（１）転置能力算定式　　$N = \dfrac{60}{Cm_1} \times T$（小数１位四捨五入）

Ｎ　：１日当り施工量（個／日）
Ｔ　：陸上クレーン標準運転時間（h／日）または起重機船等の運転時間（６h／日）
Cm_1：１個当り据付時間（分／個）
$Cm_1 = b_i \times E_1 \times E_2 \times E_3 \times E_4 \times E_5$（小数２位四捨五入）
b_i　：標準作業時間（１０分）
E_1　：作業種類能力係数
E_2　：着定基質種類能力係数
E_3　：施工区分能力係数
E_4　：着定基質質量能力係数
E_5　：ウィンチ移動能力係数

係数区分			能力係数	摘要
E_1	設置		０．９０	注）１
E_2	着定基質	異形	１．００	
		単体	１．００	
		組立	１．２０	
	増殖場・産卵礁	単体	１．００	
		組立	１．２０	
E_3	施工区分	陸上	０．９０	
		海上	１．００	
E_5	ウィンチ移動	なし	１．００	
		あり	１．２５	

係数区分		能力係数	摘要
E_4	4.5t以下	０．４０	
	4.5 ～ 7.5 〃	０．５５	
	7.5 ～ 12.5〃	０．６５	
	12.5 ～ 22.0〃	０．７５	
	22.0 ～ 31.0〃	０．８５	
	31.0 ～ 37.5〃	０．９０	
	37.5 ～ 50.0〃	１．００	
	50.0 ～ 70.0〃	１．１０	
	70.0 ～100.0〃	１．２０	

注）１　E_2の増殖場・産卵礁は、産卵礁運搬・据付工の場合に用いる。
　　２　ウィンチによる移動距離は、概ね５０ｍまでとする。なお、５０ｍを超える場合は、「４－９　着定基質運搬設置費（海上一連方式）」を適用する。

改定

４－５－２　施工歩掛

１）作業能力

（１）転置能力算定式　　$N = \dfrac{60}{Cm_1} \times T$（小数１位四捨五入）

Ｎ　：１日当り施工量（個／日）
Ｔ　：陸上クレーン標準運転時間（h／日）
Cm_1：１個当り転置時間（分／個）
$Cm_1 = b_i \times E_1 \times E_2 \times E_3 \times E_4$（小数２位四捨五入）
b_i　：標準作業時間
E_1　：作業種類能力係数
E_2　：着定基質種類能力係数
E_3　：施工区分能力係数
E_4　：着定基質質量能力係数

（２）能力係数等

①異形ブロック

係数区分			能力係数	摘要
b_i	標準作業時間（分）		８．５０	
E_1	転置		０．９０	
E_2	異形ブロック		１．００	
E_3	施工区分	陸上	０．９０	

係数区分		能力係数	摘要
E_4	4.5t以下	０．５０	
	4.5 ～ 7.5 〃	０．６５	
	7.5 ～ 12.5〃	０．７０	
	12.5 ～ 22.0〃	０．８０	
	22.0 ～ 31.0〃	別途考慮する	
	31.0 ～ 37.5〃		
	37.5 ～ 50.0〃		
	50.0 ～ 70.0〃		
	70.0 ～100.0〃		

※ 異形ブロック転置を適用している。

②単体着定基質、コンクリート製組立着定基質、鋼製組立着定基質

係数区分			能力係数	摘要
b_i	標準作業時間（分）		８．００	
E_1	転置		１．００	
E_2	単体着定基質		０．９０	
	コンクリート製組立着定基質		１．００	
	鋼製組立着定基質		１．７５	
E_3	施工区分	陸上	１．００	

係数区分		能力係数	摘要
E_4	4.5t以下	０．４０	
	4.5 ～ 7.5 〃	０．９５	
	7.5 ～ 12.5〃	１．００	
	12.5 ～ 22.0〃	１．１５	
	22.0 ～ 31.0〃	別途考慮する	
	31.0 ～ 37.5〃		
	37.5 ～ 50.0〃		
	50.0 ～ 70.0〃		
	70.0 ～100.0〃		

摘要

記載の修正

転置海上施工の削除

能力係数の変更

掲載頁	現行	改定	摘要
第３章 直接工事費の施工歩掛 ２節　増殖場工 P3-2-21			（水産庁準拠） 労務編成の削除

現行

２）労務編成　（単位：人または日）

名　称	玉掛・玉外のどちらも陸上(水上)の場合	玉掛・玉外のどちらか水中の場合	玉掛・玉外のどちらも水中の場合
とび工	1	1	－
普通作業員	3	2	－
潜水士船	－	1	2

３）代価表
（１）着定基質転置　１日（　個）当り　【Ｊ０５５１０】【Ｊ０５５２０】

名　称	形状寸法	単位	数量 陸上	数量 海上	摘　要
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ又はｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ	(油)　t吊	日	1.0	－	標準運転時間
ｸﾚｰﾝ付台船又は起重機船運転	t吊 非航旋回鋼D　t吊	日	－	1.0	運６Ｈ／就８Ｈ
引船運転	鋼D　PS型	日	－	1.0	運２Ｈ／就８Ｈ
潜水士船運転	D180PS型　3～5t吊	日	２）による		就業８Ｈ
とび工		人	〃		
普通作業員		人	〃		
雑材料		%			

改定

２）代価表
（１）着定基質転置　１日（　個）当り　【Ｊ０５５１０】【Ｊ０５５２０】

名　称	形状寸法	単位	数量	摘　要
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ又はｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ	(油)　t吊	日	1	標準運転時間
とび工		人	1	
普通作業員		人	3	
雑材料		%		

注）海上施工や玉掛・玉外のどちらも陸上（水上）以外の場合は、別途考慮する。

注意書きの追加

水産基盤整備事業（漁場）設計積算基準（令和６年１０月）　新旧対照表（令和６年１０月１日以降積算基準日適用）

掲載頁	現行	改定	摘要
第３章 直接工事費の施工歩掛 ２節　増殖場工 P3-2-22			（水産庁準拠） 積算基準の改定に伴う代価表の修正

現行

施工単価コード	Ｊ	０	５	５	１	０

施工単価名称	着定基質転置費	出力数量	１	単位	個

注意事項
1　適用にあたっては、積算基準（増）４－５－２を参照
2　標準機種の時に適用する。
3　本施工単価は、１個当たりに割り戻してある。

条件	条件名称	条件値	条件内容
A	着定基質重量	1	４．５ｔ以下
		2	４．５ｔ　～　７．５ｔ以下
		3	７．５ｔ　～　１２．５ｔ以下
		4	１２．５ｔ　～　２２．０ｔ以下
		5	２２．０ｔ　～　３１．０ｔ以下
		6	３１．０ｔ　～　３７．５ｔ以下
		7	３７．５ｔ　～　５０．０ｔ以下
		8	５０．０ｔ　～　７０．０ｔ以下
		9	７０．０ｔ　～１００．０ｔ以下
B	作業区分	1	玉掛・玉外のどちらも陸上（水上）の場合　（Ａ＝９の時、入力不可）
		2	玉掛・玉外のどちらか水中の場合
		3	玉掛・玉外のどちらも水中の場合
C	船舶供用係数α	実数	αを実数入力　（Ｂ＝１の時、入力不可）
D	船員供用係数β	実数	βを実数入力（就業８時間）　（Ｂ＝１の時、入力不可）
E	作業能力	実数	１日当たりの転置個数（個／日）を実数入力（小数１位四捨五入）

改定

施工単価コード	Ｊ	０	５	５	１	０

施工単価名称	着定基質転置費	出力数量	１	単位	個

注意事項
1　適用にあたっては、積算基準（増）４－５－２を参照
2　標準機種の時に適用する。
3　本施工単価は、１個当たりに割り戻してある。

条件	条件名称	条件値	条件内容
A	ブロック種類	1	異形ブロック
		2	単体着定基質
		3	コンクリート製組立着定基質
		4	鋼製組立着定基質
B	着定基質重量	1	４．５ｔ以下
		2	４．５ｔ超え　～　７．５ｔ以下
		3	７．５ｔ超え　～　１２．５ｔ以下
		4	１２．５ｔ超え　～　２２．０ｔ以下
		5	２２．０ｔ超え　～　３１．０ｔ以下
		6	３１．０ｔ超え　～　３７．５ｔ以下
		7	３７．５ｔ超え　～　５０．０ｔ以下
		8	５０．０ｔ超え　～　７０．０ｔ以下
		9	７０．０ｔ超え　～１００．０ｔ以下
C	作業能力	実数	１日当たりの転置個数（個／日）を実数入力（小数１位四捨五入）

水産基盤整備事業（漁場）設計積算基準(令和６年１０月）　新旧対照表（令和６年１０月１日以降積算基準日適用）

掲載頁	現行	改定	摘要
第３章 直接工事費の施工歩掛 ２節　増殖場工 P3-2-23			（水産庁準拠） 積算基準の改定に伴う代価表の修正

現行

施工単価コード	Ｊ：０５：５２：０			
施工単価名称	着定基質転置費（２）	出力数量	１	単位	個

注意事項
1　適用にあたっては、積算基準（増）４－５－２を参照
2　標準外機種の時に適用する。
3　本施工単価は、１個当たりに割り戻してある。

条件	条件名称	条件値	条件内容
A	着定基質重量	1	４．５ｔ以下
		2	４．５ｔ　～　７．５ｔ以下
		3	７．５ｔ　～　１２．５ｔ以下
		4	１２．５ｔ　～　２２．０ｔ以下
		5	２２．０ｔ　～　３１．０ｔ以下
		6	３１．０ｔ　～　３７．５ｔ以下
		7	３７．５ｔ　～　５０．０ｔ以下
		8	５０．０ｔ　～　７０．０ｔ以下
		9	７０．０ｔ　～１００．０ｔ以下
B	施工区分	1	起重機船（非航旋回）鋼Ｄ　５０ｔ吊
		2	〃　鋼Ｄ　１００ｔ吊
		3	〃　鋼Ｄ　１２０ｔ吊
		4	〃　鋼Ｄ　１５０ｔ吊
		5	〃　鋼Ｄ　２００ｔ吊
		6	〃　鋼Ｄ　２５０ｔ吊
		7	起重機船（自航旋回）鋼Ｄ　５０ｔ吊
		8	〃　鋼Ｄ　７０ｔ吊
		9	〃　鋼Ｄ　１００ｔ吊
		10	〃　鋼Ｄ　１２０ｔ吊
		11	〃　鋼Ｄ　１５０ｔ吊
		12	〃　鋼Ｄ　２００ｔ吊
		13	クレーン付台船　４５～５０ｔ吊
		14	〃　８０ｔ吊
		15	〃　１００ｔ吊
		16	基準日２００２年１０月１日より入力不可
C	回航・えい航実施区分	1	回航･えい航を実施しない､回航･えい航用引船を兼用しない（Ｂ＝７～12の時入力不可）
		2	回航・えい航用引船を兼用する　（Ｂ＝７～12の時入力不可）
D	規格区分	1	鋼Ｄ　２００ＰＳ型　１４７ｋＷ　（Ｃ＝１の時、入力不可）
		2	鋼Ｄ　２５０　〃　１８４　〃　（Ｃ＝１の時、入力不可）
		3	鋼Ｄ　３００　〃　２２１　〃　（Ｃ＝１の時、入力不可）
		4	鋼Ｄ　３５０　〃　２５７　〃　（Ｃ＝１の時、入力不可）
		5	鋼Ｄ　４５０　〃　３３１　〃　（Ｃ＝１の時、入力不可）
		6	鋼Ｄ　５００　〃　３６８　〃　（Ｃ＝１の時、入力不可）
		7	鋼Ｄ　５５０　〃　４０５　〃　（Ｃ＝１の時、入力不可）
		8	鋼Ｄ　６００　〃　４４１　〃　（Ｃ＝１の時、入力不可）
		9	鋼Ｄ　７００　〃　５１５　〃　（Ｃ＝１の時、入力不可）
		10	鋼Ｄ　８００　〃　５８８　〃　（Ｃ＝１の時、入力不可）
		11	鋼Ｄ１，０００　〃　７３６　〃　（Ｃ＝１の時、入力不可）
		12	鋼Ｄ１，２００　〃　８８３　〃　（Ｃ＝１の時、入力不可）
		13	鋼Ｄ１，５００　〃　１，１０３　〃　（Ｃ＝１の時、入力不可）
		14	鋼Ｄ２，０００　〃　１，４７１　〃　（Ｃ＝１の時、入力不可）
		15	鋼Ｄ２，５００　〃　１，８３９　〃　（Ｃ＝１の時、入力不可）
		16	鋼Ｄ３，０００　〃　２，２０７　〃　（Ｃ＝１の時、入力不可）
		17	鋼Ｄ４，０００　〃　２，９４２　〃　（Ｃ＝１の時、入力不可）
E	作業区分	1	玉掛・玉外のどちらも陸上（水上）の場合
		2	玉掛・玉外のどちらか水中の場合
		3	玉掛・玉外のどちらも水中の場合
F	船舶供用係数α	実数	αを実数入力
G	船員供用係数β	実数	βを実数入力（就業８時間）
H	作業能力	実数	１日当たりの転置個数（個／日）を実数入力（小数１位四捨五入）

改定

施工単価コード	Ｊ：０５：５２：０			
施工単価名称	着定基質転置費（２）	出力数量	１	単位	個

注意事項
1　適用にあたっては、積算基準（増）４－５－２を参照
2　標準外機種の時に適用する。
3　本施工単価は、１個当たりに割り戻してある。

条件	条件名称	条件値	条件内容
A	ブロック種類	1	異形ブロック
		2	単体着定基質
		3	コンクリート製組立着定基質
		4	鋼製組立着定基質
B	着定基質質量	1	４．５ｔ以下
		2	４．５ｔ超え　～　７．５ｔ以下
		3	７．５ｔ超え　～　１２．５ｔ以下
		4	１２．５ｔ超え　～　２２．０ｔ以下
		5	２２．０ｔ超え　～　３１．０ｔ以下
		6	３１．０ｔ超え　～　３７．５ｔ以下
		7	３７．５ｔ超え　～　５０．０ｔ以下
		8	５０．０ｔ超え　～　７０．０ｔ以下
		9	７０．０ｔ超え　～１００．０ｔ以下
C	クレーン区分	1	ラフテレーンクレーン（油）　２５吊
		2	〃　（油）　３５吊
		3	〃　（油）　４５吊
		4	〃　（油）　５０吊
		5	〃　（油）　６０吊
		6	〃　（油）　７０吊
		7	クローラクレーン（油）　５０吊
		8	〃　（油）　５５吊
		9	〃　（油）　６５吊
		10	〃　（油）　８０吊
		11	〃　（油）　１００吊
		12	〃　（油）　１５０吊
		13	〃　（油）　２００吊
		14	〃　（油）　３５０吊
D	作業能力	実数	１日当たりの転置個数（個／日）を実数入力（小数１位四捨五入）

掲載頁	現行	改定	摘要
第３章 直接工事費の施工歩掛 ２節　増殖場工		（削除）	（水産庁準拠） １スイング設置の削除

４－６　着定基質設置費（１スイング）
４－６－１　代価表作成手順

・施工場所 → 施工区分の選定 →①施工区分(陸上、海上施工)

４－４－１

・着定基質質量
①施工区分
・現場条件
→ クレーンの決定 →②クレーン類の種類・規格 ③(標準)運転時間

②起重機船等船種・規格 → 引船規格の決定 →④引船規格

４－６－２

①施工区分
・ 着定基質種類
・着定基質質量
・ウィンチ移動の有無
→ 能力係数の選定 → ⑤能力係数(据付)
作業種類能力係数(E_1)
着定基質種類能力係数(E_2)
施工区分能力係数(E_3)
着定基質質量能力係数(E_4)
着定基質移動能力係数(E_5)

⑤能力係数(据付) → １個当り設置時間算定 →⑥１個当り設置時間(Cm_1)

⑥１個当り設置時間(Cm_1)
③クレーン類の(標準)運転時間 → 設置個数の算定 →⑦１日当り施工量(Ｎ)

・水中、陸上工事区分 → 労務編成の選択 →⑧労務編成

⑦１日当り施工量(Ｎ)
①施工区分
②クレーン類の種類・規格
④引船規格
⑧労務編成
・供用係数
→ 代価表の作成 →・着定基質設置　１日(　個)当り代価表

４－６－２　施工歩掛

１）作業能力

（１）作業能力算定式

$$N = \frac{60}{Cm_1} \times T$$ （小数１位四捨五入）

Ｎ　：１日当り施工量（個／日）
Ｔ　：陸上クレーン標準運転時間（h／日）または起重機船等の運転時間（６h／日）
Cm_1：１個当り据付時間（分／個）

$Cm_1 = b_i \times E_1 \times E_2 \times E_3 \times E_4 \times E_5$（小数２位四捨五入）

b_i　：標準作業時間（１０分）
E_1　：作業種類能力係数
E_2　：着定基質種類能力係数
E_3　：施工区分能力係数
E_4　：着定基質質量能力係数
E_5　：ウィンチ移動能力係数

係数区分			能力係数	摘要
E_1	設置		１．００	注）１
E_2	着定基質	異形	１．００	
		単体	１．００	
		組立	１．２０	
	増殖場・産卵礁	単体	１．００	
		組立	１．２０	
E_3	施工区分	陸上	０．９０	
		海上	１．００	
E_5	ウィンチ移動	なし	１．００	
		あり	１．２５	

係数区分		能力係数	摘要
E_4	4.5t以下	０．４０	
	4.5 ～ 7.5 〃	０．５５	
	7.5 ～ 12.5〃	０．６５	
	12.5 ～ 22.0〃	０．７５	
	22.0 ～ 31.0〃	０．８５	
	31.0 ～ 37.5〃	０．９０	
	37.5 ～ 50.0〃	１．００	
	50.0 ～ 70.0〃	１．１０	
	70.0 ～100.0〃	１．２０	

注）１　E_2の増殖場・産卵礁は、 産卵礁運搬・据付工の場合に用いる。
　　２　ウィンチによる移動距離は、概ね５０ｍまでとする。なお、５０ｍを超える場合は、
　　「４－９　着定基質運搬設置費（海上一連方式）」を適用する。

掲載頁	現行	改定	摘要
第３章 直接工事費の施工歩掛 ２節　増殖場工		（削除）	（水産庁準拠） １スイング設置の削除

２）労務編成　（単位：人または日）

名　　称	玉掛・玉外のどちらも陸上(水上)の場合	玉掛・玉外のどちらか水中の場合	玉掛・玉外のどちらも水中の場合
と　び　工	1	1	－
普通作業員	3	2	－
潜水士船	－	1	2

３）代価表
（１）着定基質設置（１スイング）　１日（　個）当り　【Ｊ９９０６９】【Ｊ９９０５６】

名　　称	形状寸法	単位	数量 陸上	数量 海上	摘　　要
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ又は ｸﾛｰﾗｸﾚｰﾝ	(油)　　t吊	日	1.0	－	標準運転時間
ｸﾚｰﾝ付台船又は 起重機船運転	t吊 非航旋回鋼D　t吊	日	－	1.0	運６Ｈ／就８Ｈ
引船運転	鋼D　PS型	日	－	1.0	運２Ｈ／就８Ｈ
潜水士船運転	D180PS型　3～5t吊	日	２）による		就業８Ｈ
と　び　工		人	〃		
普通作業員		人	〃		
雑　材　料		%			

掲載頁	現行	改定	摘要
第３章 直接工事費の施工歩掛 ２節　増殖場工		（削除）	（水産庁準拠） １スイング設置の削除

施工単価コード	Ｊ	９	９	０	６	９

施工単価名称	着定基質設置費（１スイング）	出力数量	１	単位	個

注意事項

１　適用にあたっては、積算基準（増）４－６－２を参照

２　標準機種の時に適用する。

３　本施工単価は、１個当たりに割り戻してある。

条件	条件名称	条件値	条件内容
A	着定基質質量	1	４．５ｔ以下
		2	４．５ｔ　～　７．５ｔ以下
		3	７．５ｔ　～　１２．５ｔ以下
		4	１２．５ｔ　～　２２．０ｔ以下
		5	２２．０ｔ　～　３１．０ｔ以下
		6	３１．０ｔ　～　３７．５ｔ以下
		7	３７．５ｔ　～　５０．０ｔ以下
		8	５０．０ｔ　～　７０．０ｔ以下
		9	７０．０ｔ　～１００．０ｔ以下
B	作業区分	1	玉掛・玉外のどちらも陸上（水上）の場合　（Ａ＝９の時、入力不可）
		2	玉掛・玉外のどちらか水中の場合
		3	玉掛・玉外のどちらも水中の場合
C	船舶供用係数α	実数	αを実数入力
D	船員供用係数β	実数	βを実数入力（就業８時間）
E	作業能力	実数	１日当たりの据付個数（個／日）を実数入力（小数１位四捨五入）

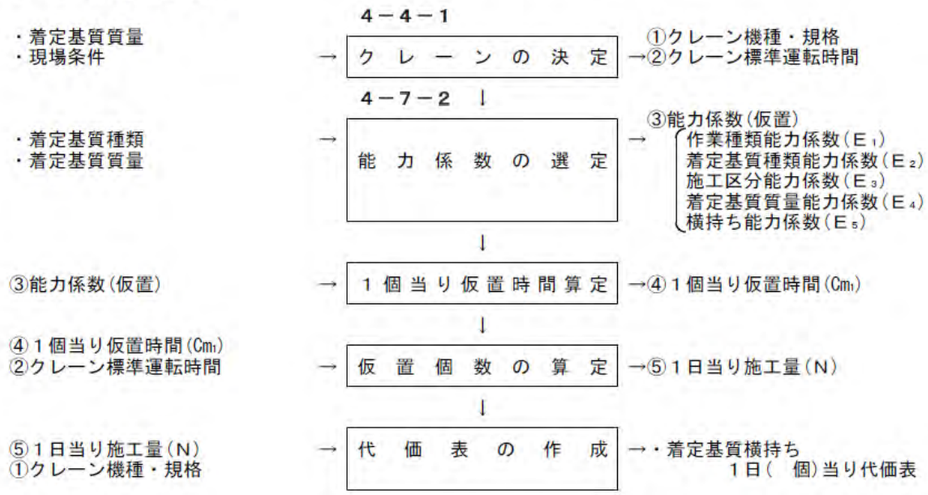
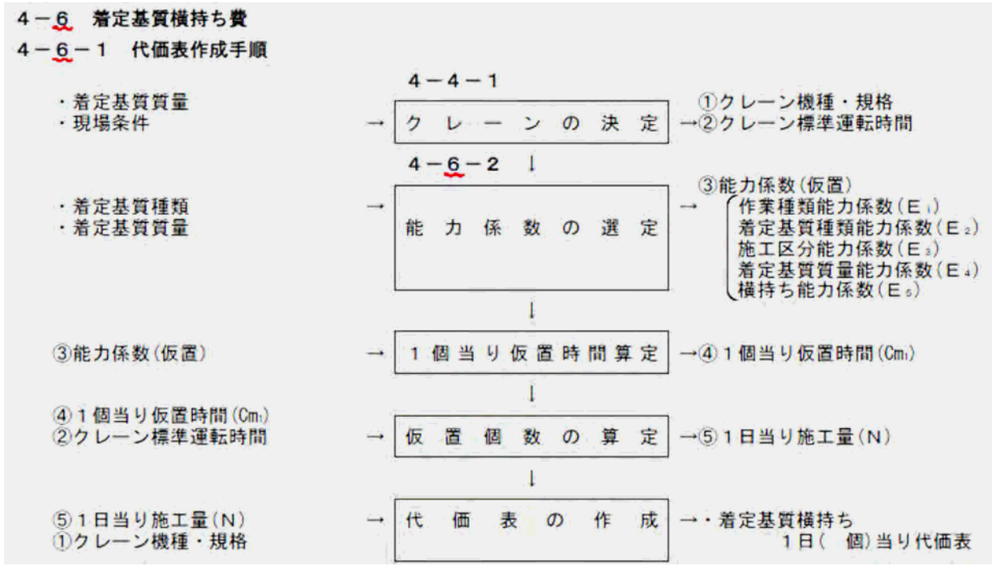
掲載頁	現行	改定	摘要
第３章 直接工事費の施 工歩掛 ２節　増殖場工		（削除）	（水産庁準拠） １スイング設置の削除

施工単価コード	Ｊ	９	９	０	５	６

施工単価名称	着定基質設置費（１スイング）（２）	出力数量	１	単位	個

注意事項
１　適用にあたっては、積算基準（増）４－６－２を参照
２　標準外機種の時に適用する。
３　本施工単価は、１個当たりに割り戻してある。

条件	条件名称	条件値	条件内容
A	着定基質質量	1	４．５ｔ以下
		2	４．５ｔ　～　７．５ｔ以下
		3	７．５ｔ　～　１２．５ｔ以下
		4	１２．５ｔ　～　２２．０ｔ以下
		5	２２．０ｔ　～　３１．０ｔ以下
		6	３１．０ｔ　～　３７．５ｔ以下
		7	３７．５ｔ　～　５０．０ｔ以下
		8	５０．０ｔ　～　７０．０ｔ以下
		9	７０．０ｔ　～１００．０ｔ以下
B	施工区分	1	起重機船（非航旋回）鋼Ｄ　５０ｔ吊
		2	〃　鋼Ｄ　１００ｔ吊
		3	〃　鋼Ｄ　１２０ｔ吊
		4	〃　鋼Ｄ　１５０ｔ吊
		5	〃　鋼Ｄ　２００ｔ吊
		6	〃　鋼Ｄ　２５０ｔ吊
		7	起重機船（自航旋回）鋼Ｄ　５０ｔ吊
		8	〃　鋼Ｄ　７０ｔ吊
		9	〃　鋼Ｄ　１００ｔ吊
		10	〃　鋼Ｄ　１２０ｔ吊
		11	〃　鋼Ｄ　１５０ｔ吊
		12	〃　鋼Ｄ　２００ｔ吊
		13	クレーン付台船　４５～５０ｔ吊
		14	〃　８０ｔ吊
		15	〃　１００ｔ吊
		16	基準日２００２年１０月１日より入力不可
C	回航・えい航実施区分	1	回航･えい航を実施しない､回航･えい航用引船を兼用しない（Ｂ＝７～12の時入力不可）
		2	回航・えい航用引船を兼用する　（Ｂ＝７～12の時入力不可）
D	規格区分	1	鋼Ｄ　２００ＰＳ型　１４７ｋＷ　（Ｃ＝１の時、入力不可）
		2	鋼Ｄ　２５０　〃　１８４　〃　（Ｃ＝１の時、入力不可）
		3	鋼Ｄ　３００　〃　２２１　〃　（Ｃ＝１の時、入力不可）
		4	鋼Ｄ　３５０　〃　２５７　〃　（Ｃ＝１の時、入力不可）
		5	鋼Ｄ　４５０　〃　３３１　〃　（Ｃ＝１の時、入力不可）
		6	鋼Ｄ　５００　〃　３６８　〃　（Ｃ＝１の時、入力不可）
		7	鋼Ｄ　５５０　〃　４０５　〃　（Ｃ＝１の時、入力不可）
		8	鋼Ｄ　６００　〃　４４１　〃　（Ｃ＝１の時、入力不可）
		9	鋼Ｄ　７００　〃　５１５　〃　（Ｃ＝１の時、入力不可）
		10	鋼Ｄ　８００　〃　５８８　〃　（Ｃ＝１の時、入力不可）
		11	鋼Ｄ１，０００　〃　７３６　〃　（Ｃ＝１の時、入力不可）
		12	鋼Ｄ１，２００　〃　８８３　〃　（Ｃ＝１の時、入力不可）
		13	鋼Ｄ１，５００　〃　１，１０３　〃　（Ｃ＝１の時、入力不可）
		14	鋼Ｄ２，０００　〃　１，４７１　〃　（Ｃ＝１の時、入力不可）
		15	鋼Ｄ２，５００　〃　１，８３９　〃　（Ｃ＝１の時、入力不可）
		16	鋼Ｄ３，０００　〃　２，２０７　〃　（Ｃ＝１の時、入力不可）
		17	鋼Ｄ４，０００　〃　２，９４２　〃　（Ｃ＝１の時、入力不可）
E	作業区分	1	玉掛・玉外のどちらも陸上（水上）の場合
		2	玉掛・玉外のどちらか水中の場合
		3	玉掛・玉外のどちらも水中の場合
F	船舶供用係数α	実数	αを実数入力
G	船員供用係数β	実数	βを実数入力（就業８時間）
H	作業能力	実数	１日当たりの据付個数（個／日）を実数入力（小数１位四捨五入）

掲載頁	現行	改定	摘要
第３章 直接工事費の施工歩掛 ２節　増殖場工 P3-2-24	**４－７　着定基質横持ち費** **４－７－１　代価表作成手順**  	 	（水産庁準拠） 番号の繰上げ

水産基盤整備事業（漁場）設計積算基準(令和６年１０月）　新旧対照表（令和６年１０月１日以降積算基準日適用）

掲載頁	現行	改定	摘要
第３章 直接工事費の施工歩掛 ２節　増殖場工 P3-2-24			（水産庁準拠） 番号の繰上げ
P3-2-25			能力係数の変更

現行

４－７－２　施工歩掛

１）作業能力

（１）横持ち能力算定式　　$N = \dfrac{60}{Cm_1} \times T$（小数第１位四捨五入）

Ｎ　：１日当り施工量（個／日）
Ｔ　：クレーン標準運転時間（h／日）
Cm_1：１個当り仮置時間（分／個）
$Cm_1 = b_i \times E_1 \times E_2 \times E_3 \times E_4 \times E_5$（小数第２位四捨五入）
b_i　：標準作業時間（１０分）
E_1　：作業種類能力係数
E_2　：着定基質種類能力係数
E_3　：施工区分能力係数
E_4　：着定基質質量能力係数
E_5　：横持ち能力係数

係数区分			能力係数	摘要
E_1	仮置		０．９０	注）１
E_2	着定基質	異形	１．００	
		単体	１．００	
		組立	１．２０	
	増殖場・産卵礁	単体	１．００	
		組立	１．２０	
E_3	施工区分	陸上	０．９０	
E_5	横持ち		２．００	

係数区分		能力係数	摘要
E_4	4.5t以下	０．４０	
	4.5 ～ 7.5 〃	０．５５	
	7.5 ～ 12.5〃	０．６５	
	12.5 ～ 22.0〃	０．７５	
	22.0 ～ 31.0〃	０．８５	
	31.0 ～ 37.5〃	０．９０	
	37.5 ～ 50.0〃	１．００	
	50.0 ～ 70.0〃	１．１０	
	70.0 ～100.0〃	１．２０	

注）１　E_2の増殖場・産卵礁は、産卵礁運搬・設置工の場合に用いる。

２）代価表
（１）着定基質横持ち　１日（　個）当り　　【Ｊ０５５００】

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
ラフテレーンクレーン又はクローラクレーン	（油）　ｔ吊	日	１．０	標準運転時間
とび工		人	１．０	
普通作業員		人	３．０	
雑材料		%		

改定

４－６－２　施工歩掛

１）作業能力

（１）横持ち能力算定式　　$N = \dfrac{60}{Cm_1} \times T$（小数第１位四捨五入）

Ｎ　：１日当り施工量（個／日）
Ｔ　：クレーン標準運転時間（h／日）
Cm_1：１個当り仮置時間（分／個）
$Cm_1 = b_i \times E_1 \times E_2 \times E_3 \times E_4 \times E_5$（小数第２位四捨五入）
b_i　：標準作業時間
E_1　：作業種類能力係数
E_2　：着定基質種類能力係数
E_3　：施工区分能力係数
E_4　：着定基質質量能力係数
E_5　：横持ち能力係数

（２）能力係数等

①異形ブロック

係数区分		能力係数	摘要
b_i	標準作業時間（分）	８．５０	
E_1	仮置	０．９０	
E_2	異形ブロック	１．００	
E_3	施工区分　陸上	０．９０	
E_5	横持ち	１．６０	

係数区分		能力係数	摘要
E_4	4.5t以下	０．５０	
	4.5 ～ 7.5 〃	０．６５	
	7.5 ～ 12.5〃	０．７０	
	12.5 ～ 22.0〃	０．８０	
	22.0 ～ 31.0〃	別途考慮する	
	31.0 ～ 37.5〃		
	37.5 ～ 50.0〃		
	50.0 ～ 70.0〃		
	70.0 ～100.0〃		

※異形ブロック横持ちを適用している。

②単体着定基質、コンクリート製組立着定基質、鋼製組立着定基質

能力係数			摘要
b_i	標準作業時間（分）	８．００	
E_1	仮置	１．００	
E_2	単体着底基質	０．９０	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ製組立着底基質	１．００	
	鋼製組立着底基質	１．７５	
E_3	施工区分　陸上	１．００	
E_5	横持ち	１．２５	

係数区分		能力係数	摘要
E_4	4.5t以下	０．４０	
	4.5 ～ 7.5 〃	０．９５	
	7.5 ～ 12.5〃	１．００	
	12.5 ～ 22.0〃	１．１５	
	22.0 ～ 31.0〃	別途考慮する	
	31.0 ～ 37.5〃		
	37.5 ～ 50.0〃		
	50.0 ～ 70.0〃		
	70.0 ～100.0〃		

２）代価表
（１）着定基質横持ち　１日（　個）当り　　【Ｊ０５５００】

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
ラフテレーンクレーン又はクローラクレーン	（油）　ｔ吊	日	１．０	標準運転時間
とび工		人	１．０	
普通作業員		人	３．０	
雑材料		%		

掲載頁	現行	改定	摘要
第３章 直接工事費の施工歩掛 ２節　増殖場工 P3-2-26		施工単価コード　Ｊ０５５００ 施工単価名称：着定基質横持ち　出力数量：１　単位：個 注意事項 １．適用にあたっては、積算基準（増）４－６－２を参照 ２．標準機種の時に適用する。 ３．本施工単価は、１個当たりに割り戻してある。 条件 ／ 条件名称 ／ 条件値 ／ 条件内容 A ／ ブロック種類 ／ 1 ／ 異形ブロック 2 ／ 単体着定基質 3 ／ コンクリート製組立着定基質 4 ／ 鋼製組立着定基質 B ／ 着定基質重量 ／ 1 ／ ４．５ｔ以下 2 ／ ４．５ｔ超え　～　７．５ｔ以下 3 ／ ７．５ｔ超え　～　１２．５ｔ以下 4 ／ １２．５ｔ超え　～　２２．０ｔ以下 5 ／ ２２．０ｔ超え　～　３１．０ｔ以下 6 ／ ３１．０ｔ超え　～　３７．５ｔ以下 7 ／ ３７．５ｔ超え　～　５０．０ｔ以下 8 ／ ５０．０ｔ超え　～　７０．０ｔ以下 9 ／ ７０．０ｔ超え　～１００．０ｔ以下 C ／ 作業能力 ／ 実数 ／ １日当たりの横持ち個数（個／日）を実数入力（小数１位四捨五入）	施工単価コード 新規作成

掲載頁	現行	改定	摘要
第３章 直接工事費の施工歩掛 ２節　増殖場工 P3-2-27			施工単価コード 新規作成

施工単価コード	Ｊ	０	５	５	０	５

施工単価名称	着定基質横持ち（２）	出力数量	１	単位	個

注意事項
１．適用にあたっては、積算基準（増）４－６－２を参照
２．標準外機種の時に適用する。
３．本施工単価は、１個当たりに割り戻してある。

条件	条件名称	条件値	条件内容
A	ブロック種類	1	異形ブロック
		2	単体着定基質
		3	コンクリート製組立着定基質
		4	鋼製組立着定基質
B	着定基質質量	1	４．５ｔ以下
		2	４．５ｔ超え　～　７．５ｔ以下
		3	７．５ｔ超え　～　１２．５ｔ以下
		4	１２．５ｔ超え　～　２２．０ｔ以下
		5	２２．０ｔ超え　～　３１．０ｔ以下
		6	３１．０ｔ超え　～　３７．５ｔ以下
		7	３７．５ｔ超え　～　５０．０ｔ以下
		8	５０．０ｔ超え　～　７０．０ｔ以下
		9	７０．０ｔ超え　～１００．０ｔ以下
C	クレーン区分	1	ラフテレーンクレーン（油）　２５吊
		2	〃　（油）　３５吊
		3	〃　（油）　４５吊
		4	〃　（油）　５０吊
		5	〃　（油）　６０吊
		6	〃　（油）　７０吊
		7	クローラクレーン（油）　５０吊
		8	〃　（油）　５５吊
		9	〃　（油）　６５吊
		10	〃　（油）　８０吊
		11	〃　（油）　１００吊
		12	〃　（油）　１５０吊
		13	〃　（油）　２００吊
		14	〃　（油）　３５０吊
D	作業能力	実数	１日当たりの横持ち個数（個／日）を実数入力（小数１位四捨五入）